

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和8年1月15日

協議会名:	小千谷市地域公共交通協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>小千谷市は、新潟県のほぼ中央に位置し、面積は155.19km²、人口は令和7年3月末現在32,357人となっており、平成27年3月末現在の37,471人と比較し5,114人減少、年齢別人口比率では15歳以下(平成27年3月末:12.9%、令和7年3月末:10.6%)が減少し、その一方で65歳以上(平成27年3月末:30.9%、令和7年3月末:36.8%)が増加する少子高齢化が進んでいる。</p> <p>本市の公共交通網は、JR上越線小千谷駅から本町を軸に、路線バス、乗合タクシー、コミュニティバスにより市域内広範に構成されている。近年は、人口減少とマイカー普及により公共交通利用者は減少を続け、路線バス事業の収支悪化は廃線や減便を招いている。その一方で、通院や通勤・通学など日常生活に必要不可欠な交通手段の確保は引き続き求められている。</p> <p>将来に渡り安定した公共交通を確保・維持するために、市街地から郊外を循環するフィーダー系統を幹線系統と組み合わせ合わせて運行することにより、以下の事業効果を期待できる公共交通ネットワークを構築する。</p> <ul style="list-style-type: none">・地域間幹線系統からの乗継と通院や通勤・通学など日常生活に必要不可欠な交通手段の確保・区画整理事業により住宅建設が進む若葉地区を含む国道117号沿線の公共交通空白域の解消・中心市街地の本町と郊外大型店や公共施設を結ぶことによる地域活性化